

プログラミング問題PCIモジュール 操作マニュアル

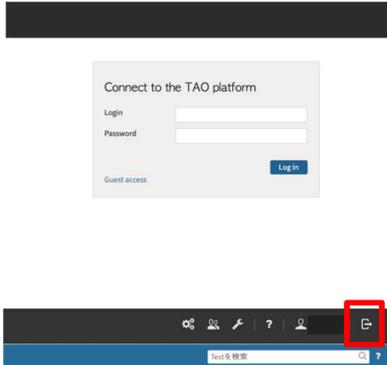
version 1.0



目次

【共通項目】	ログイン/ログアウト	3	【受験者用】	受験の手順	35
【出題者用】	アイテム(テスト)の作成/保存/削除	4	【採点者用】	採点の手順	36
	問題の作成	5		採点の手順	37
	画面説明	6		RESPONSE JSON	38
	短冊型コードの種類	11			
	短冊型コードの基本プロパティ設定	12			
	試験問題タブの操作	16			
	短冊型コードのエラーと対処法	19			
	短冊型コードの操作	20			
	正答管理タブでの短冊の操作	21			
	実行結果正答の確認	23			
	実行結果正答の確認ボタン	24			
	実行ボタン押下時のエラー内容と対処方法	25			
	JavaScriptの確認	26			
	テスト結果の確認方法	27			
	受験者の新規追加/削除	28			
	受験者のインポート	29			
	グループの追加/削除	30			
	テストの配信	31			
	問題を保存・再編集するときの注意事項	32			

ログイン/ログアウト



ログイン

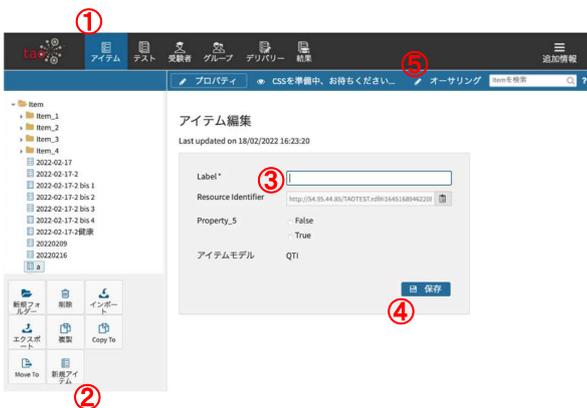
1. ログイン画面へアクセスします
2. ログインIDとパスワードを入力します
3. [Login]ボタンをクリックします

ログアウト

1. ログイン後の画面右上のボタンをクリックします
(赤枠内)

3

アイテム(テスト)の作成/保存/削除



アイテムの作成手順

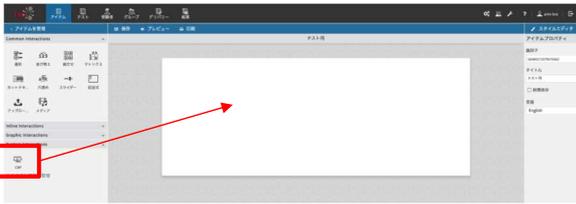
3ページの手順でログイン後、下記の手順で作成が可能です。

1. ヘッダーの、「アイテム」をクリック
2. 左サイドバーの「新規アイテム」をクリック
3. 右に編集の表示が出たら、「Label」に任意のテスト名を入力します
4. 保存をクリックでアイテムが保存されます
5. 作成したアイテムを選択し、「オーサリング」をクリックで問題を編集できます。

※削除の場合は、削除したいアイテムを選択し、左サイドバーの「削除」をクリックで削除されます

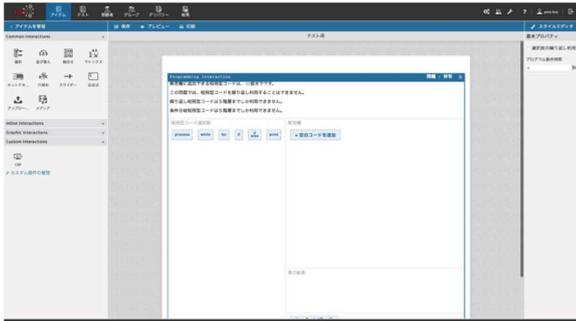
4

問題の作成



プログラミング問題の作成

左サイドバー内の「Custom Interactions」を展開。中の「CBP」を右の画面にドラッグ&ドロップしてInteractionを展開できます

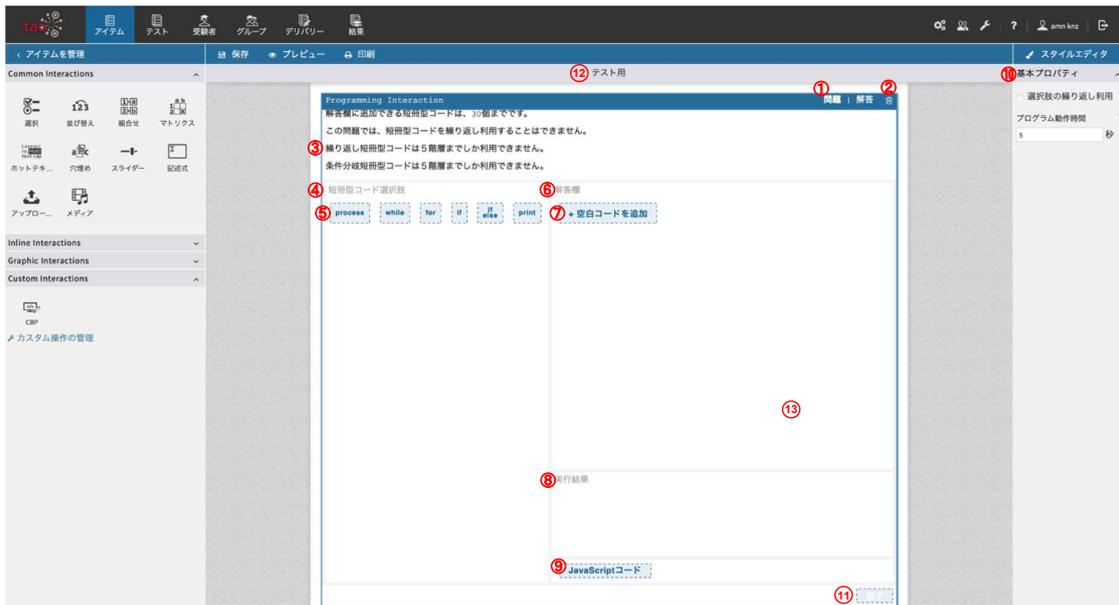


標準Interactionの追加

同様に追加したい標準Interactionのアイコンを右の画面にドラッグ&ドロップでInteractionを展開できます

画面説明（試験問題管理タブ画面）

プログラミング問題の設問文の設定とプログラミング問題に必要な短冊型コードを作成する画面です。



画面説明（試験問題管理タブ画面）

No	名称	説明
1	試験問題管理 正答管理タブ	プログラミング問題の試験問題管理タブ画面と正答管理タブ画面を切り替えるタブです。
2	削除	プログラミング問題を削除するボタン。選択時にプログラミング問題を削除します。
3	問題文フィールド	問題文を入力するテキストフィールド。1000文字まで入力可能です。初期値として受験者向けの警告文言を設定しています。必要に応じて編集してください。
4	短冊型コード一覧	プログラミング問題用の短冊型コードを選択するフィールドです。短冊型コードを追加した順番に表示します。
5	短冊型コード追加ボタン	短冊型コード一覧に短冊型コードを追加するボタンです。
6	解答欄	短冊型コード一覧内の短冊型コードを使ってプログラミングを行うフィールドです。
7	空白追加ボタン	空白を追加するボタンです。
8	実行結果	プログラム実行時に実行結果、出力短冊の出力内容を表示するフィールドです。最新の50行まで表示します。問題が発生した場合はエラーメッセージ等も表示します。
9	JavaScriptコードボタン	解答欄にプログラミングした短冊型コードの実行コード（JavaScript）を表示するフォームを開くボタンです。
10	基本プロパティフィールド	プログラミング問題の基本プロパティを表示するフィールドです。
11	完了ボタン	プログラミング問題の編集を完了するボタンです。
12	Interactionタイトル	プログラミング問題Interactionのタイトルです。

※選択肢プロパティについては次ページで解説しています

7

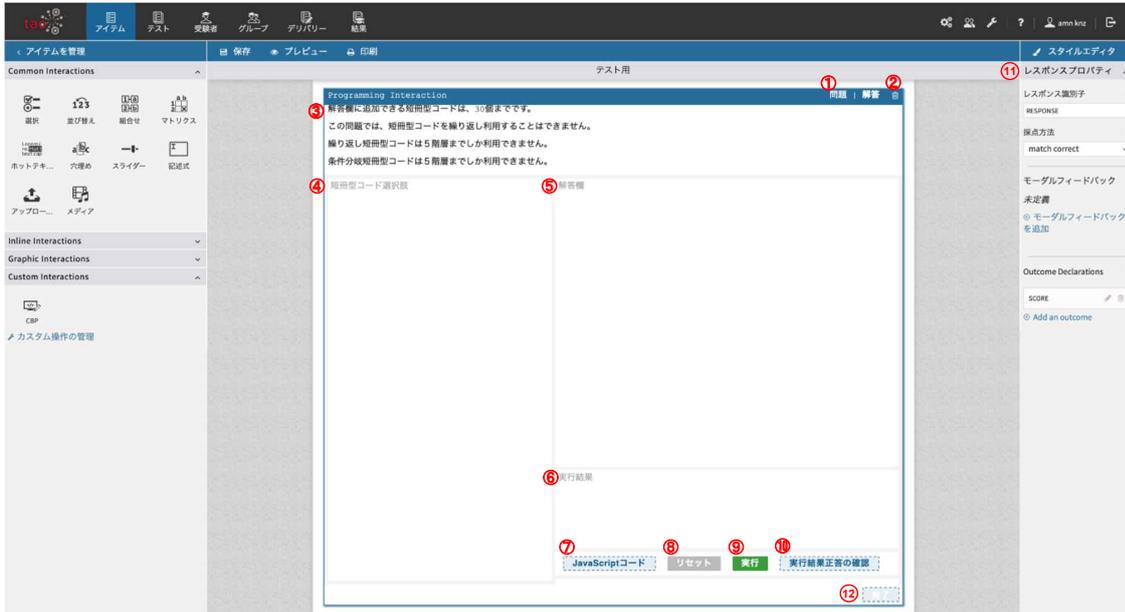
画面説明(短冊型コードの選択肢プロパティ)

No	名称	説明
1	識別子	短冊型コードごとに設定する識別子です。他の短冊型コードと重複しないよう設定してください。
2	短冊種別	短冊型コードの種別を決定するプロパティです。短冊型コードの種別を変更できます。 ※ 短冊型コードの種別については後述します。
3	実行コード	短冊型コードに割り当てるJavaScriptのソースコードを入力するプロパティです。テキストボックス、ドロップダウンリストを設定する場合、実行コードに適用したい箇所に以下のように入力します。なお、テキストボックス、ドロップダウンリストは、いずれか1つのみ可能です。設定方法の詳細は、後述します。 入力例 [テキストボックス] %textField_123 [ドロップダウンリスト] %selectBox_456
4	表示内容	短冊型コードに表示する内容を入力するプロパティです。受験者の方に向けた表示です。テキストボックス、ドロップダウンリストを表示する場合、表示したい箇所に以下のように入力します。設定方法の詳細は、後述します。 入力例 [テキストボックス] %textField_123 [ドロップダウンリスト] %selectBox_456[1,2,3]
5	入力許可ワード	短冊型コード内に設置するテキストボックスに入力可能なワードを指定するフィールドです。カンマ区切りで複数入力可能な文字列を指定できます。初期値として、以下の内容を設定しています。必要に応じて編集してご利用ください。 初期値 : a,b,c,d,e,f,g,h,i,j,k,l,m,n,o,p,q,r,s,t,u,v,w,x,y,z,A,B,C,D,E,F,G,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q,R,S,T,U,V,W,X,Y,Z,0,1,2,3,4,5,6,7,8,9

8

画面説明（正答管理タブ画面）

プログラミング問題の試験問題管理タブで作成した短冊型コードを並べ替えて正答を設定する画面です。



9

画面説明（正答管理タブ画面）

No	名称	説明
1	試験問題管理 正答管理タブ	プログラミング問題の試験問題管理タブ画面と正答管理タブ画面を切り替えるタブです。
2	削除	プログラミング問題を削除するボタン。選択時にプログラミング問題を削除します
3	問題文フィールド	問題タブ画面で入力した問題文を表示する。正答管理タブからは編集できません
4	短冊型コード一覧	プログラミング問題用の短冊型コードを選択するフィールドです。
5	解答欄	短冊型コード一覧内の短冊型コードを使ってプログラミングを行うフィールドです。正答管理タブ画面では、短冊型コード一覧内の短冊型コードをドラッグして解答欄にドロップし、プログラミングを行います。
6	実行結果	プログラム実行時に実行結果、出力短冊の出力内容を表示するフィールドです。問題が発生した場合、エラーメッセージ等も表示します。最新の50行まで表示します。
7	JavaScriptコードボタン	解答欄にプログラミングした短冊型コードの実行コード（JavaScript）を表示するフォームを開くボタンです。
8	リセットボタン	解答欄に設置した短冊型コードをリセットし、実行結果に表示している内容をクリアするボタンです。
9	実行ボタン	解答欄にプログラミングした短冊型コードの実行コードをJavaScriptとして出力して実行するボタンです。
10	実行結果正答の確認	実行結果の解答を確認するためのモーダルダイアログを開くボタンです。
11	レスポンスプロパティフィールド	プログラミング問題のレスポンスプロパティを表示するフィールドです
12	完了ボタン	プログラミング問題の編集を完了するボタンです。

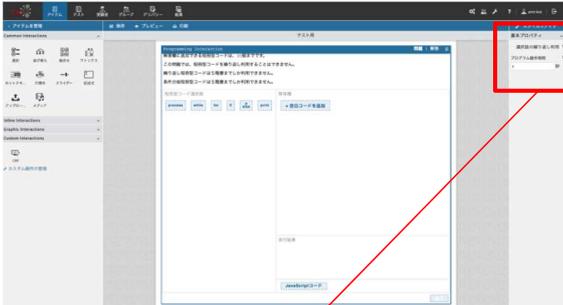
10

短冊型コードの種類

No	種別	短冊イメージ	説明
1	処理短冊型コード		Data[n+1] = tmpなど何らかのJavaScriptコードに関連した処理を行う短冊です。文の末尾に;(セミコロン)が必要です。また、複数行のJavaScriptコードを設定することができます。
2	繰り返し短冊型コード (while)		繰り返し処理の短冊型コードです。while短冊型コード内に追加した短冊の実行コードは、以下の通り()内のコードとして扱われます。 while(while短冊型コードの実行コード) {while短冊内に追加した短冊の実行コード}
3	繰り返し短冊型コード (for)		繰り返し処理の短冊型コードです。for短冊内に追加した短冊の実行コードは、以下の通り()内のコードとして扱われます for(for短冊の実行コード) {for短冊内に追加した短冊の実行コード}
4	条件分岐短冊型コード (if)		条件分岐の短冊型コードです。if短冊内に追加した短冊の実行コードは、以下の通り()内のコードとして扱われます if(if短冊型コードの実行コード) {if短冊内に追加した短冊の実行コード}
5	条件分岐短冊型コード (if-else)		条件分岐の短冊型コードです。if-else短冊内に追加した短冊の実行コードは、以下の通り()内のコードとして扱います。 if (if-else短冊型コードの実行コード) {if-else短冊内に追加した短冊の実行コード} else {if-else短冊内に追加した短冊の実行コード}
6	出力短冊型コード (print)		出力の短冊型コードです。実行コード内の要素を実行結果フィールドに出力します。JavaScriptコードを表示した際には、以下のように表示します。 printBlock(出力短冊型コードの実行コード)

短冊型コードの基本プロパティ設定

基本プロパティでは、短冊型コードの基本的なプロパティを設定できます



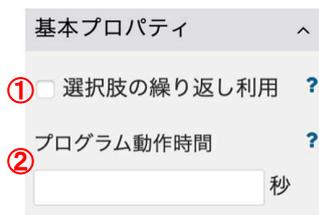
基本プロパティ設定

1. 選択肢の繰り返し利用

選択肢の複数回利用を有効とするチェックボックスです。有効にした場合、短冊型コードの選択肢を解答欄にて繰り返し利用することが可能となります。

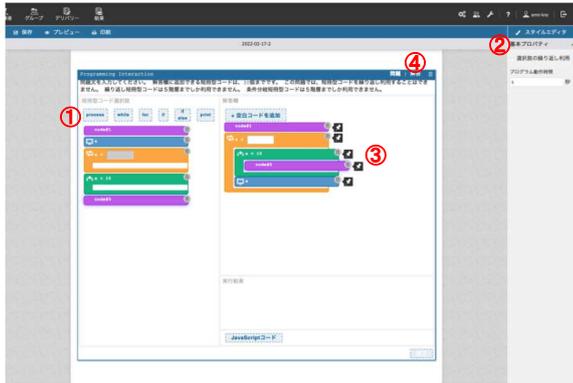
2. プログラム動作時間

プログラムの動作時間を設定するテキストボックスです。5~10秒で設定した時間が経過した場合、強制的にプログラムの実行を中断します。



試験問題管理タブの操作(短冊型コードの作成)

プログラミング問題の試験問題管理タブ画面は、設問文の設定とプログラミング問題に必要な短冊型コードを作成する画面です。



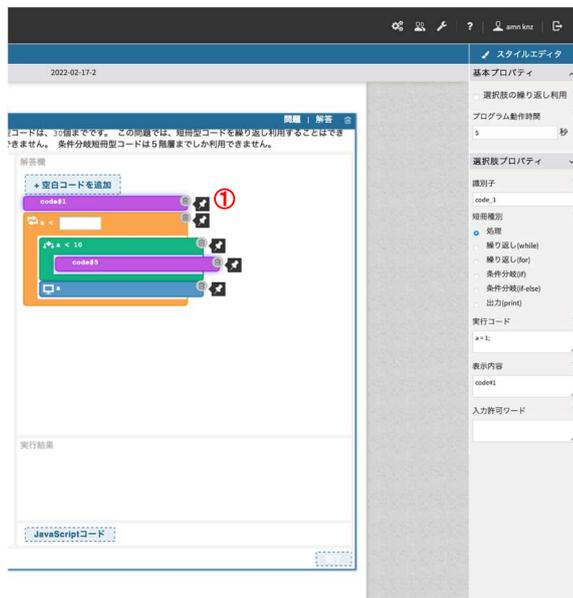
短冊型コードの追加と操作

1. 「短冊型コード選択肢」上部のボタンから、各種短冊型コードをクリックして追加。
1. 追加した短冊型コードの「実行コード」、「表示内容」等の情報を右サイドバー「選択肢プロパティ」で編集。
1. 短冊型コード選択肢に追加した短冊をドラッグ&ドロップで「解答欄」に短冊型コードを追加する。
1. 試験問題管理タブから、正答管理タブに切り替える。

13

試験問題管理タブの操作(短冊型コードの固定)

プログラミング問題の試験問題管理タブ画面は、設問文の設定とプログラミング問題に必要な短冊型コードを作成する画面です。



短冊型コードの固定

1. 解答欄で短冊型コードの固定ボタン(①)をクリックします。
1. 固定した短冊型コードは削除アイコンが固定化解除ボタンに変化します。
1. 固定化を解除したい場合は固定化解除ボタンをクリックしてください。

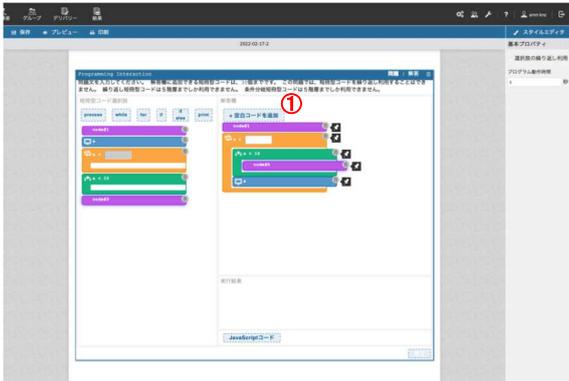
解答欄で固定した短冊型コードはドラッグと削除が不可になり、短冊型コード選択肢から該当短冊型コードが削除されます。

なお、右メニューの「選択肢の繰り返し利用」を有効化した場合、回答欄の重複したコードの中に固定されていないものがあれば、短冊型コード選択肢からは削除されず、回答欄への追加も可能です。

14

試験問題管理タブの操作(空白の追加)

プログラミング問題の試験問題管理タブ画面は、設問文の設定とプログラミング問題に必要な短冊型コードを作成する画面です。



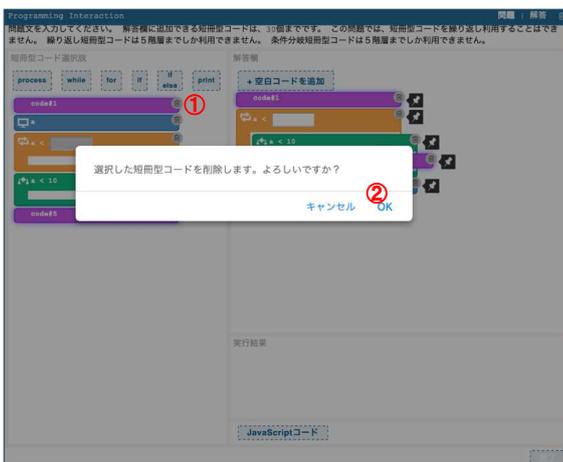
空白の追加

空白アイテムは正答管理タブやプレビューなどでは空白として扱えます
空白アイテムには固定や選択肢プロパティの編集などは行えません

1. 解答欄上部の「空白コードを追加」ボタン (①) をクリックします。
1. 空白が追加されます。他の短冊型コード同様場所を移動したり、ネストができます。

15

試験問題管理タブの操作(削除編)



短冊型コード選択肢からの短冊型コードの削除

短冊型コード選択肢から短冊型コードを削除できます
解答欄に同短冊型コードが配置されている場合は解答欄からも削除されます

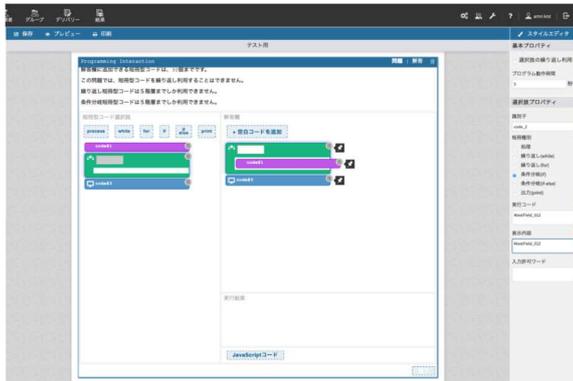
1. 短冊型コードの右端にある削除アイコン(①)をクリックします。
1. 削除確認のアラートが表示されるので「はい」をクリックします。

解答欄から短冊型コードの削除

1. 解答欄の短冊型コードの右端にある削除アイコン(②)をクリックします。
1. アラートなどは表示されず削除されます。また、短冊型コード選択肢にある同短冊は削除されません。

16

試験問題管理タブの操作(テキストボックスの追加)



テキストボックス付き短冊表示イメージ

テキストボックスの追加方法

1. 短冊型コードのプロパティ情報>表示内容に「テキストボックスキーワード」を入力してください

¥textField 012

※パソコン環境によっては、「¥textField_012」というように表示される場合があります。

固定に必要な文言

テキストボックスの識別子

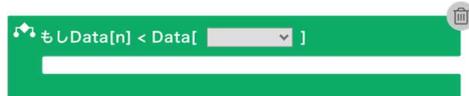
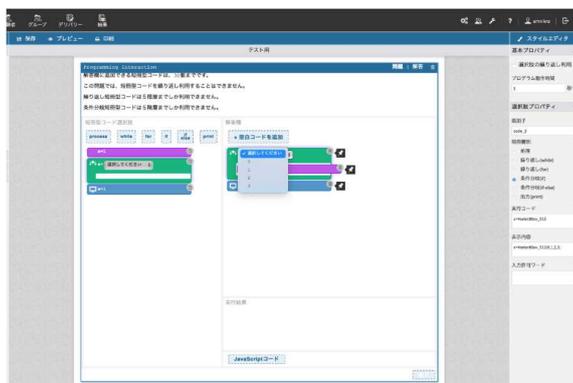
2. テキストボックスの入力許可ワードを設定してください
カンマ区切りで複数入力可能な文字列を指定できます。

実行コードへの追加

表示内容に追加したテキストボックスキーワードと同様の形で追加してください。

17

試験問題管理タブの操作(ドロップダウンの追加)



表示内容への追加

1. 短冊型コードのプロパティ情報>表示内容に「ドロップダウンリストキーワード」を入力してください

ドロップダウンリストの識別子

¥selectBox 012[1,2,3]

※パソコン環境によっては、「¥selectBox_012[1,2,3]」というように表示される場合があります。

固定に必要な文言

ドロップダウンリストの選択肢

2. 上記の点線部分の箇所を選択肢を追加してください。
カンマ区切りで最大10個まで追加できます

実行コードへの追加

表示内容に追加したドロップダウンリストキーワードから選択肢を覗いた状態で追加してください。

18

短冊型コードのエラーと対処方法

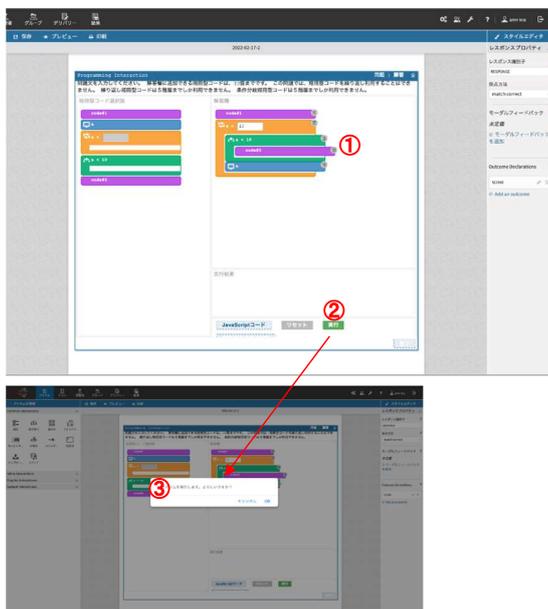
入力した短冊型コードのプロパティに問題がある場合、以下のエラーを表示します。対処方法をご確認の上、再度入力してください。

エラー内容	発生条件	対処方法
識別子が未入力です。	未入力	識別子を入力してください。
識別子が他の短冊型コードと重複しています。	他の短冊型コードと重複している	識別子重複部分を確認して重複しないよう再設定してください。
実行コードが未入力です。	未入力	実行コードを入力してください。
表示内容に入力したテキストボックスが、実行コードにありません。	表示内容にテキストボックスキーワードが存在するが、実行コードにない	実行コードにテキストボックスキーワードを入力してください。
表示内容に入力したドロップダウンリストが、実行コードにありません。	表示内容にドロップダウンリストキーワードが存在するが、実行コードにない	実行コードにドロップダウンリストキーワードを入力してください。
利用できるテキストボックスは一つのみです。	テキストボックスキーワードが複数存在する	テキストボックスのキーワードの重複を削除してください。
利用できるドロップダウンリストは一つのみです。	ドロップダウンリストキーワードが複数存在する	ドロップダウンリストの中の重複を削除してください。
表示内容が未入力です。	未入力	表示内容を入力してください。
実行コードに入力したテキストボックスが、表示内容にありません。	実行コードにテキストボックスキーワードが存在するが、表示内容にない	表示内容にテキストボックスキーワードを入力してください。
実行コードに入力したドロップダウンリストが、表示内容にありません。	実行コードにドロップダウンリストキーワードが存在するが、表示内容にない	表示内容にドロップダウンリストキーワードを入力してください。
テキストボックスの入力許可ワードが未入力です。	実行コードにテキストボックスキーワードを設定しているが、入力許可ワードが未入力	入力許可ワードを入力してください。

19

正答管理タブでの短冊の操作

正答管理タブ画面は、試験問題管理タブで作成した短冊型コードを並べ替えて正答を設定する画面です。



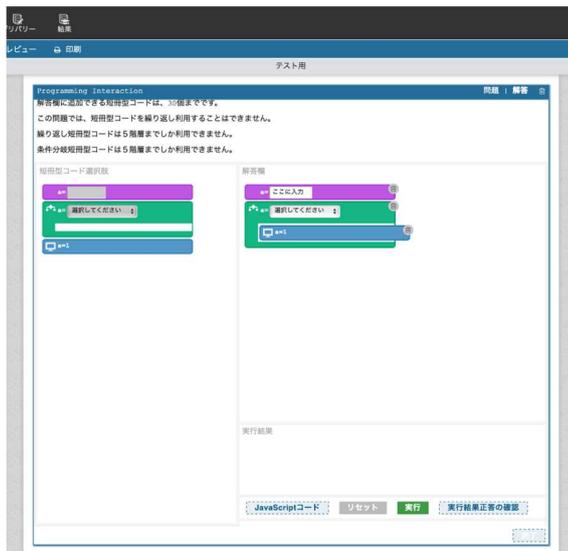
正答管理タブでの短冊型コードの操作

1. 試験問題管理タブで設定した「解答欄」から短冊型コードをドラッグ&ドロップで移動し、正答を設定します。
1. 「実行」ボタンをクリックします。
1. 「プログラムを実行します。よろしいですか？」というアラートが表示されたら、「OK」をクリックします。
1. プログラムの実行に問題ない場合設定した正答が実行結果正答に保存されます。結果は実行結果正答の確認ボタンから確認できます。

※このタブでは、実行コードや表示内容の変更はできません。

20

正答管理タブでの短冊の操作(テキストボックスの正答設定)



解答欄の短冊型コードにテキストボックスを表示した短冊がある場合、その短冊内のテキストボックスを選択すると、テキストボックス内にカーソルを表示して、テキストボックスの解答値を入力可能です。

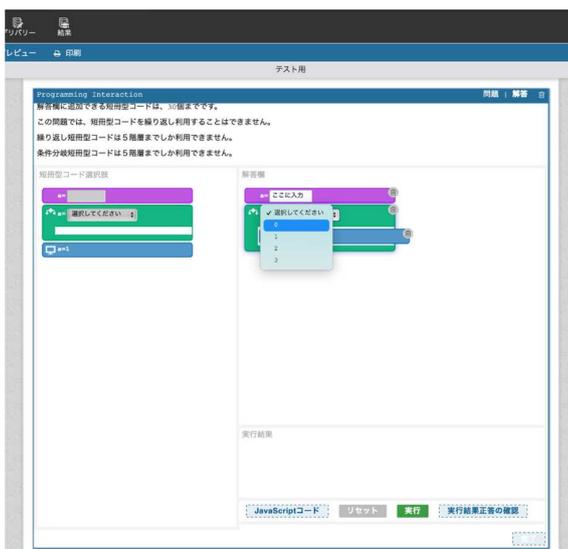
1. 解答欄にドロップダウン付きの短冊型コードをドラッグ&ドロップします。
1. ドロップダウンをクリックして正答の選択肢を設定します。
1. 編集が完了したら実行ボタンをクリックして正答を保存します。

※下記の項目はテキストボックスに入力不可となります。

' : シングルクォーテーション
" : ダブルクォーテーション
! : エクスクラメーション
(,) : カンマ
単項演算子
算術演算子
関係演算子
等値演算子
ビットシフト演算子
バイナリービット演算子
バイナリー論理演算子
代入演算子

21

正答管理タブでの短冊の操作(ドロップダウンの正答設定)

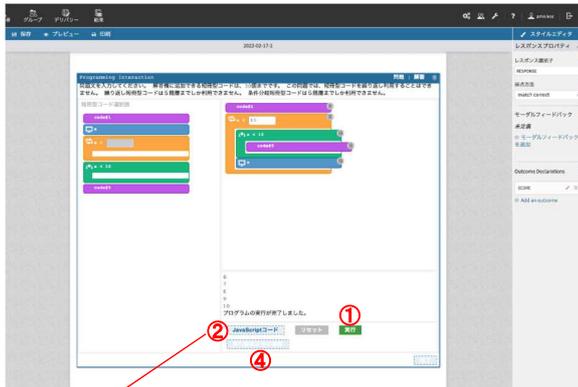


解答欄の短冊型コードにドロップダウンリストを表示した短冊がある場合、その短冊内のドロップダウンリストを選択すると、短冊型コードのプロパティに設定した選択肢を図のように表示して選択可能となります。

1. 解答欄にドロップダウン付きの短冊をドラッグ&ドロップします。
1. ドロップダウンをクリックして正答の選択肢を設定します。
1. 編集が完了したら実行ボタンをクリックして正答を保存します。

22

実行結果正答の確認



③ エラー発生の場合

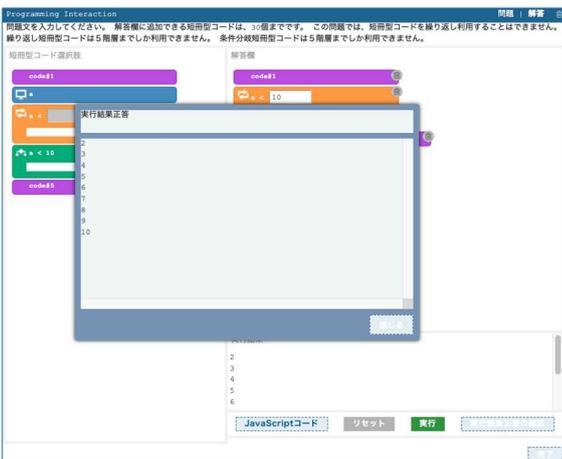


実行結果正答の確認

1. 正答管理タブで設定した正答を「実行ボタン」をクリックしてコードに誤りがないかを確認してください。
1. 実行結果の欄に「プログラムの実行が完了しました。」と表示されたら、「実行結果正答の確認」をクリックし、正答が保存されていることを確認してください。

実行に問題がない場合、「実行結果」にプログラムが完了した旨が表示されます。エラーが発生した場合は短冊型コードの組み方の見直しや、試験問題管理タブに戻り、コードの構文や、実行コード等の確認を行ってください。

実行結果正答の確認ボタン



実行結果正答の確認

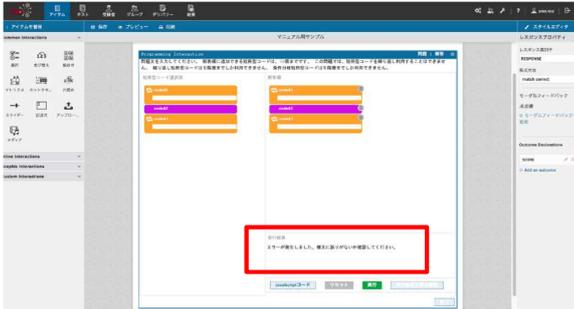
1. 正常に実行結果が保存されている場合、「実行結果正答の確認」ボタンをクリックすると左図のようなポップアップが表示されます。
2. この状態で問題タブに戻ると、下図のような注意文言が表示されます。問題タブ内にて短冊型コードの実行内容や表示内容など何らかのプロパティを変更した場合、実行結果が変わる可能性があることから正答をクリアします。クリアした場合は、再度プログラムの実行を行い、実行結果正答を再度設定してください。

「正答管理タブ画面で使用している短冊型コードを編集した場合は、正答が初期化されます。」



実行ボタン押下時のエラー内容と対処方法

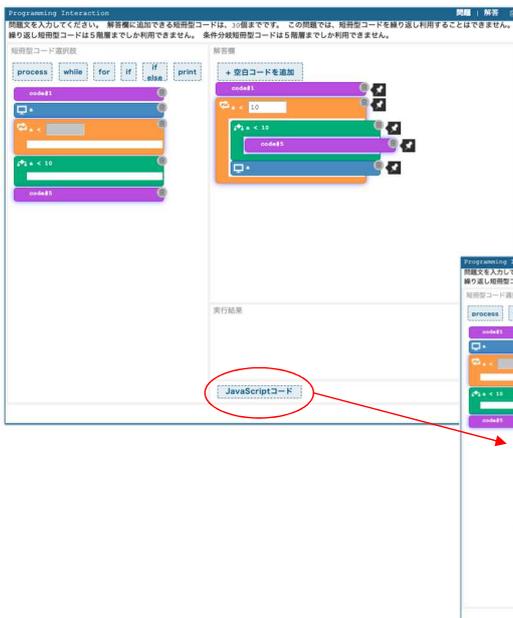
「実行ボタン」の押下後、左図の赤枠部の様にエラー内容が表示される場合があります。その際の対処方法について下記を確認してください。



実行ボタン押下時のエラー内容と対処方法

No	エラー表示	対処法
1	エラーが発生しました。変数の利用に誤りがないか確認してください。	変数の型、存在しない変数の参照など、変数の利用に起因したエラーです。短冊型コードの実行コードを確認の上、修正してください。
2	エラーが発生しました。構文に誤りがないか確認してください。	JavaScriptの文法に起因したエラーです。短冊型コードの実行コードを確認の上、修正してください。
3	エラーが発生しました。配列の利用に誤りがないか確認してください。	値が配列内に存在しないか、許容範囲に無いなど配列の利用に起因したエラーです。短冊型コードの実行コードを確認の上、修正してください。
4	エラーが発生しました。プログラムを再度確認してください。	上記以外の要因でエラーが発生しています。JavaScriptコードを確認の上、短冊型コードの実行コードを修正してください。

JavaScriptコードの確認



JavaScriptコードの確認

1. JavaScriptコードをクリックします。
2. 「解答欄」に設定されている短冊型コード内の実行コードを読み取り、自動的にJavaScriptに変換して、下記図のようなポップアップにJavaScriptコードを表示します。

テスト結果の確認方法

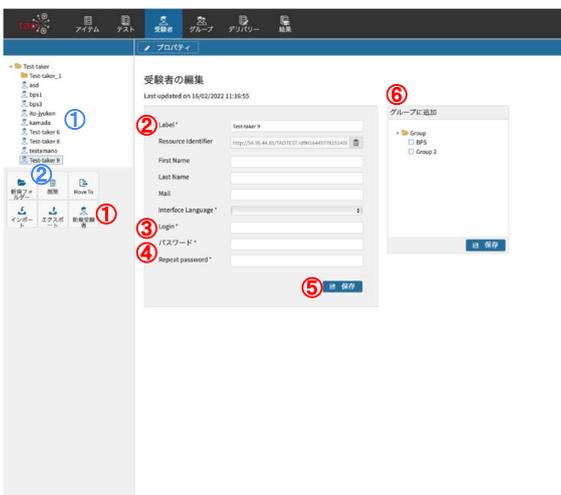


テスト結果の確認方法

1. 上部メニューの中から「結果」を選択してクリックします。
1. ページ左部のメニューから確認するテストを選択します。
1. ページに受験者ごとの結果が表示されるので、「View」または「ダウンロード」を選択し、結果を確認します。
1. 左メニュー、もしくは上部のテーブルをエクスポートからCSVファイルでのエクスポートも可能です。

27

受験者の新規追加/削除



受験者の追加

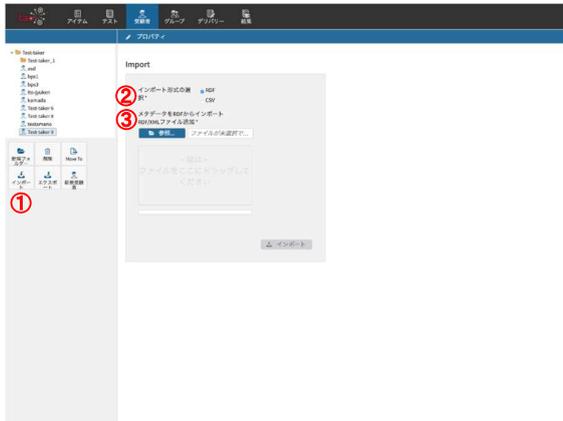
1. 受験者>新規受験者をクリックします。
2. label や名前など各項目を入力します。
3. Loginに受験者がログイン時に使用するIDを設定します。
4. パスワードも設定
5. 保存をクリックします。
6. グループに追加にチェックを入れその下の保存をクリックで受験者の登録が完了します。

受験者の削除

1. 削除したい受験者を左メニューの一覧から選択します。
2. 削除をクリックします。

28

受験者のインポート

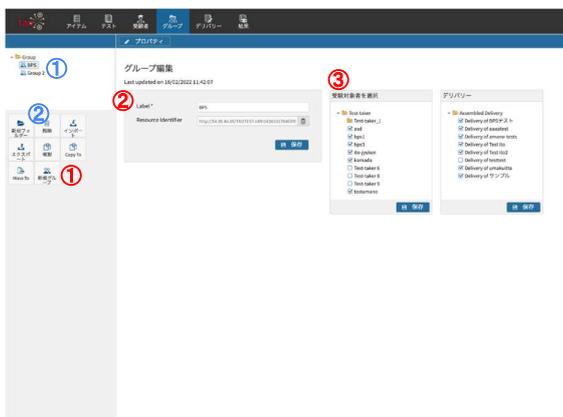


受験者のインポート

1. 受験者>左メニュー>インポートをクリックします。
2. インポートの種類を選択します。
3. ボタンからファイルを選択するか、ファイルをドラッグ&ドロップして追加できます。

29

グループの追加/削除



グループの新規追加

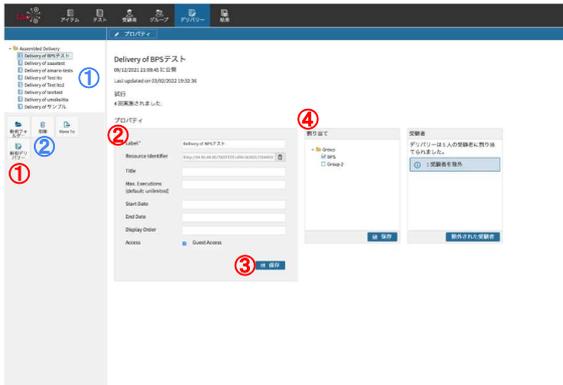
1. グループ>左メニュー>新規グループをクリックします。
2. Labelを入力し、保存をクリックします。
3. 受験対象者とデリバリーがもうすでにある場合はここで選択し、その下の各保存ボタンをクリックで設定できます。
※3の設定は別の項目からも設定できます。

グループの削除

1. 左メニューから削除したいグループをクリックします。
2. 削除ボタンをクリックします。

30

テストの配信(デリバリーの設定)



デリバリーの新規作成

1. デリバリー->新規デリバリーをクリックします。
2. Labelや必要事項を入力します。
3. 保存ボタンをクリックします。
4. 割当からテストを配信したいグループにチェックを入れ、保存をクリックします。

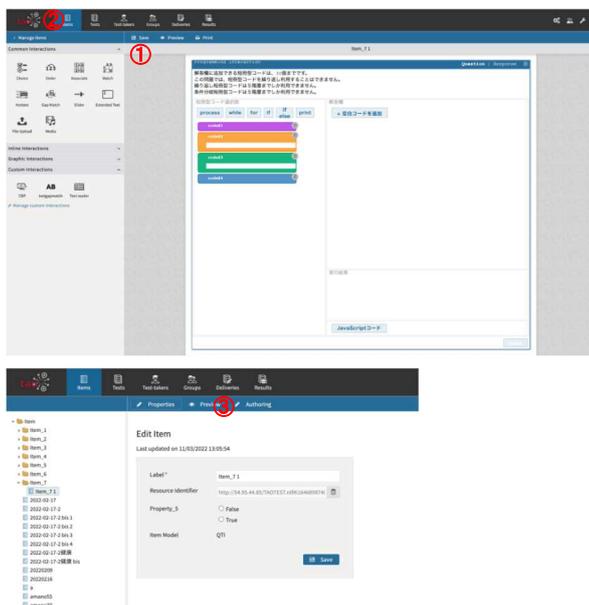
デリバリーの削除

1. 削除したいデリバリーをクリックします。
2. 削除ボタンをクリックします。

31

問題を保存・再編集する際の注意事項

TAOの仕様上、保存後の動作によって作成した問題を再編集する際、データが消えてしまう場合があります。消えない手順、消える手順をそれぞれ解説します。



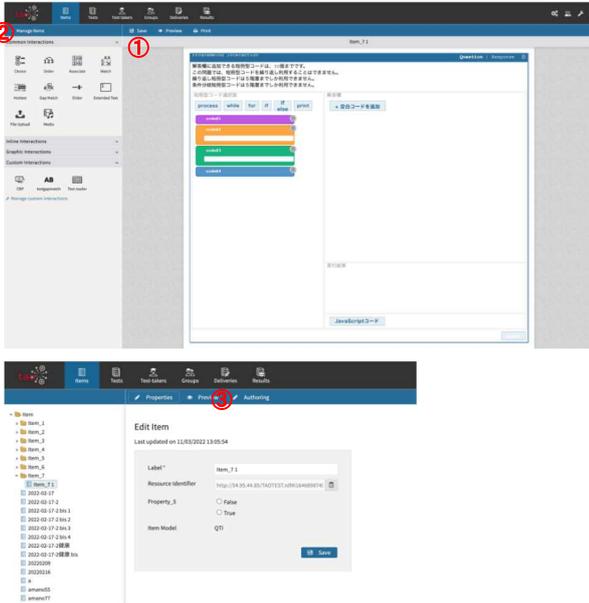
データが消えない保存・再編集方法

1. 問題を作成後、画面左上の「Save」をクリックし、問題を保存します。
1. 「Items」をクリックし、アイテム一覧に戻ります。
1. アイテム一覧から該当のアイテムを選択し、「Authoring」をクリックすることで問題なく問題を再編集できます。

32

問題を保存・再編集する際の注意事項

TAOの仕様上、保存後の動作によって作成した問題を再編集する際にデータが消えてしまう場合があります。消えない手順、消える手順をそれぞれ解説します。



データが消えてしまう保存・再編集方法

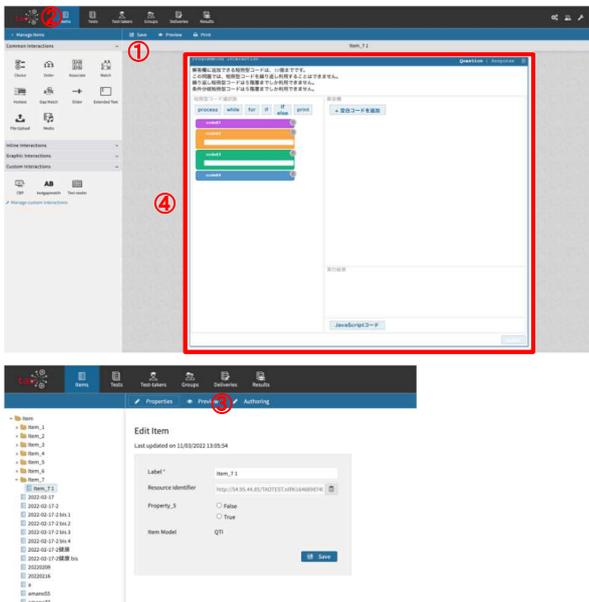
1. 問題を作成後、画面左上の「Save」をクリックし、問題を保存します。
1. 「Manage Items」をクリックし、アイテム一覧に戻る。
2. アイテム一覧から該当のアイテムを選択し、「Authoring」をクリックして再編集を行う。
3. その後開かれた問題作成画面で、問題を再編集、「SAVE」をすると問題が消えてしまうのでご注意ください

※上記2の手順で問題から一覧に戻ってしまった場合、一覧画面でブラウザのスーパーリロードを行うことで、再編集が可能になります。また、3の手順で問題を開いてしまった場合は、何もクリックせず、保存せずに「Items」で一覧に戻ってください。

33

問題を保存・再編集する際の注意事項

TAOの仕様上、保存後の動作によって作成した問題を再編集する際、データが消えてしまう場合があります。消えない手順、消える手順をそれぞれ解説します。

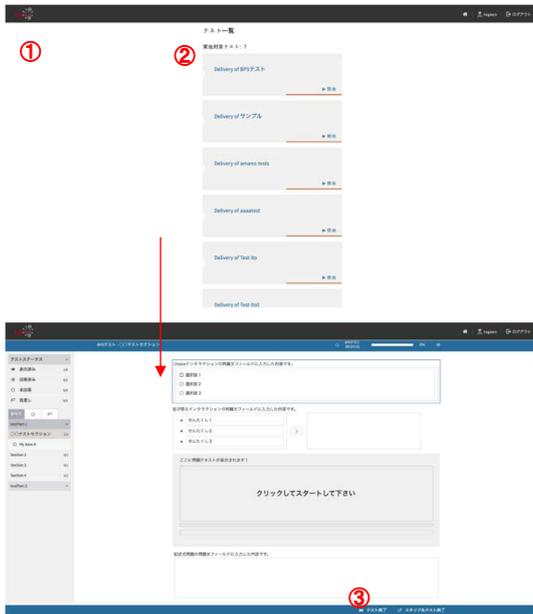


データが消えてしまう保存・再編集方法

1. 問題を作成後、画面左上の「Save」をクリックし、問題を保存します。
1. 「Items」をクリックし、アイテム一覧に戻ります。
2. アイテム一覧から該当のアイテムを選択し、「Authoring」をクリックして問題作成画面を開きます。
3. 再度問題を開いた状態で、問題の枠をクリックし選択。短冊の追加やコードの入力等、何も変更を加えない状態で「SAVE」または、「Items」をクリックした際のダイアログで保存をすると、問題が消えてしまいます。

34

受験の手順

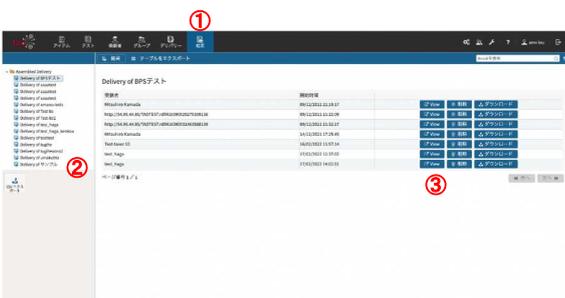


受験の手順

1. 受験者のIDとパスワードでログインします。
1. テスト一覧から受験したいテストを選びクリックします。
1. テストが完了したら一番下の「テスト終了」をクリックします。クリック後、解答が送信されます。

35

採点の手順



採点の手順 - 1

1. 管理者のIDとパスワードでログインします。
1. ①結果をクリックします。
1. ②テスト一覧より対象のテストを選択します。
1. ③確認したい対象の解答の「view」をクリックします。

36

採点の手順

test_haga		レビュー		
解答 (3)				
numAttempts	1	* single	integer	February 17, 2022, 4:34:33 pm
duration	PT13.367976S	* single	duration	February 17, 2022, 4:34:33 pm
RESPONSE	{ "result": [], "code": "a = 1;\nif (a < 0) {\n printBlock(a);\n}" "codeblock": [{"id": "code_1", "type": "process"}, {"id": "code_2", "type": "if", "nests": [{"id": "code_3", "type": "print"}]}], "textbox": [{"id": "1", "value": "0"}], "dropdown": [] }	✓ single	string	February 17, 2022, 4:34:33 pm
グレード (2)				
completionStatus	completed	single	identifier	February 17, 2022, 4:34:33 pm
SCORE	1	single	float	February 17, 2022, 4:34:33 pm

採点の手順 - 2

RESPONSE・・・実際の解答の中身となります。（詳細は次頁）

採点の手順（RESPONSE JSON）

RESPONSE JSONの構造

- “result” : 解答の実行結果となります。実行ボタンをクリックしなかった場合、この値は保存されません。
- “code” : 解答のJavaScriptのコードとなります。
- “codeblock” : 解答の短冊型コードの並び順となります。
- “textbox” : 解答のテキストボックスの入力値となります。
- “dropdown” : 解答のドロップダウンリストの選択値となります。

受験者が回答した内容



実際に送信された解答のJSON

※ 改行コードを取り除いて記載しています

```
{
  "result": [2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10],
  "code": "a = 1;\nvar __flag_code_3 = 0; /* SYSTEM */\nwhile (a < 10) {\n  __flag_code_3++; /* SYSTEM */\n  if (__flag_code_3 === 1000) throw -10; /* SYSTEM */\n  if (a < 10) {\n    a = a + 1;\n    printBlock(a);\n  }\n}",
  "codeblock": [
    { "id": "code_1", "type": "process",
      "nests": [
        { "id": "code_4", "type": "if", "nests": [
          { "id": "code_5", "type": "process" } ] } ] } ] },
    { "id": "code_2", "type": "print" } ] },
  "textbox": [{"id": "123", "value": "10"}],
  "dropdown": []
}
```

プログラムの実行結果

システムが付加したコードについては /* SYSTEM */ が付きます。

繰り返し短冊型コードを設定した場合、処理回数が規定回数 (1000回) を超えないかのチェックコードが自動挿入されます。

出力型短冊は「printBlock (処理)」となります。

解答された短冊型コード

id : 識別子

type : 短冊型コードの種類

nests : ネストの中身
(繰り返し短冊型コードと条件分岐短冊型コードの場合に付加)

テキストボックス、セレクトボックスの入力値が上から順番に配列内に入ります。

例)

「TextField_123」と入力したボックスに対し「10」と入力し解答した例。「123」がテキストボックスのキーとして登録され、10が値となっています。